

# ガス機器による火災と事故を



## 防止しましょう！



### ガス機器の正しい取扱いをしましょう！

ガス機器による火災は毎年出火件数が多く、総務省消防庁平成30年火災統計ではコンロによる火災が年間2,852件起こっており、出火原因が全体の第3位となっています。

ガス機器による火災はちょっとした不注意で起きる可能性が高く、普段から取り扱いを注意することで防げる火災が多いです。

下記の注意点を確認し、ガス機器による火災と事故を防ぎましょう！！

### ①ガス機器を点火したときは、必ず 火がついたか確かめてください！

⇒ガス栓が開いているのに気づかずそのまま放置してしまうと、部屋にガスが充満し、一酸化炭素が発生し、一酸化炭素中毒を起こす危険があります！



### ②ガス機器で火を使用している場合は必ず 目を離さないようにしましょう！

⇒ガス機器で火を使用している際に来客や電話等で目を離してしまい、火災になってしまうことが非常に多いです。たとえ短時間でも火を使用している際は目を離さないようにし、目を離す際には必ず火を消しましょう！



また、ガスコンロについては、安全装置  
(過熱防止装置、立ち消え安全装置)が  
ついたものを使用しましょう！

### ③ガス機器の周囲を確認しましょう！

⇒ガス機器の周囲は常に整理・整頓を行い、  
周囲の可燃物に着火しないように注意しまし  
よう！



### ④十分な換気を行いましょう！

⇒密閉された空間でガスを使用すると、ガスが  
不完全燃焼を起こし一酸化炭素が発生する可  
能性があります。換気扇を回したり、窓を開ける  
などをして十分な換気を行いましょう！



### ⑤住宅用火災・ガス・CO警報器を設置し ましょう！

⇒ガス機器による火災や事故を防止するためには  
ガス漏れと一酸化炭素の発生を検知する「ガス・  
CO警報器」の設置がとても重要です！さらにガ  
ス・CO警報器に熱または煙感知機能が加わった  
「住宅用火災・ガス・CO警報器」を設置するこ  
とで、火災・ガス漏れ・一酸化炭素の3つを検知  
することができるので、ガス機器による火災や事  
故を最小限にすることができます！

